



THANK YOU ALL FOR COMING!!

HUMUN 2025

SUN
12
DECEMBER

今回はHUMUN2025にご参加いただきありがとうございました。学内外から総勢75名の学生が参加をし、「働きがいも経済成長も」（SDGs 目標8）について3日間にわたり議論を深めました。

DAY1

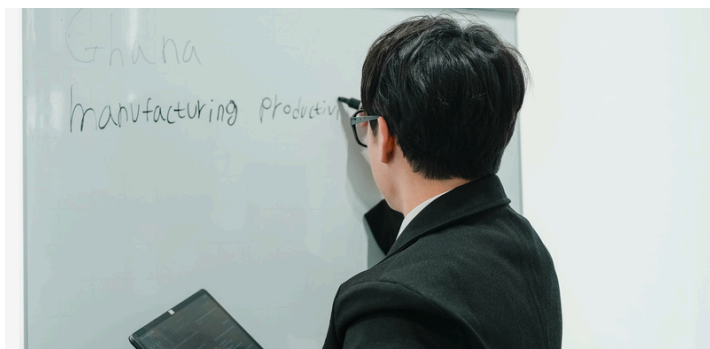
2025年12月12日～14日に第8回阪南大学模擬国連（以下HUMUN）が開催された。今年度も神戸学院大学の学生や留学生が参加し総勢75名の学生が参加した。参加者の中では、緊張している人やフォトブースで写真を撮って楽しんでいる人も多く見られた。1日目では、参加者の親睦を深めるためのアイスブレイキングや立食パーティーが行われ笑い声や楽しむ姿が多く見られた。



DAY2

本格的な議論がスタート！

2日目は、それぞれ各国の情報共有を行いお互いの理解を深めていた。どのルームも、活発な情報共有が行われ、比較的和やかで賑やか雰囲気が進められていく様子であった。



DAY3

いよいよ大詰め！

3日目は、いよいよ終盤に差し迫っていき、どのルームも頭を抱えながらも最後まで意見交換を行いながらも解決案を作成している様子で非常に印象的であった。3日目ということもありながらも、デリゲート間の仲もさらに深まっているようにも見えた。



日本語

議論の深まりと成長

ブロックごとに雰囲気の違いが見られた。初々しさの残るブロックでは、試行錯誤を重ねながら議論を深め、経験を重ねたブロックでは役割分担や意見整理が安定していた。日本語で細かなニュアンスまで共有できるからこそ、それぞれの色が際立つ、丁寧に密度の高い話し合いが行われていた。



ミックス

支え合いが光る議論

明るく和やかな雰囲気の中で議論が進められていた。ブロック間の話し合いでは、英語で意見交換を行う難しさがある場面でも困っているデリゲートに手を差し伸べ、互いにサポートし合う姿が見られた。自分の言葉で伝えようとする努力が印象的で、それが前向きな空気を生み出していた。



英語

英語で挑む、粘り強い議論

すべて英語で議論を行う中で細かな認識の共有に苦戦する場面も見られた。しかし、その都度何度も確認を重ねながら意見をすり合わせており、粘り強く議論を進める姿が印象的だった。初参加者が多いとは思えないほど、最終的には完成度の高い議論が展開されていた。



LEGO

素直さが生んだ創造の時間

2日目は昼食後、やや集中力が途切れる場面も見られたが、3日目には気持ちを切り替えて真剣にレゴに取り組む姿が印象的だった。質問も増え、グループやブロック内で相談しながら作成が進められていた。素直に意見を受け入れる姿勢が、創造力を養ういい機会につながっていた。



EDS部員より

HUMUN2025（阪南大学模擬国連）にご参加いただきありがとうございます。EDS部員一同、お礼申し上げます。テーマ“Find your voice, shape your future”のとおり一人ひとりが勇気を出して意見やアイデアを伝える姿がとても印象的でした。この3日間で見つけた「自分の声」が、これからの進路や日々の選択を後押ししてくれたら嬉しいです。皆様のさらなるご活躍を心より応援しております！また、来年HUMUN2026でお会いしましょう！



EDS部 顧問
Mark Daniel
Sheehan先生



EDS部 代表
野原 万由果



EDS部 副代表
山本 愛子

The 8th Hannan University Model United Nations was shaped by the dedication and creativity of its student organizers. Building on past conferences, students introduced new ideas to enhance the experience for all.

HUMUN2025にご参加いただきありがとうございました！総勢75名の学生が参加し非常に嬉しく、忘れられないHUMUNとなりました。私自身、今まで準備に励んで良かったと心の底から感じています。引き続き、阪南大学模擬国連並びにEDS部をよろしく願いいたします。

今年は代表と一緒にHUMUNの運営側として活動してきました。当日までに部員とこれまで以上に意見交換を繰り返しました。部員のHUMUNに対する強い思いや、参加される方への思いを感じるよいきっかけとなりました。来年度も多くの方にご参加いただけるような運営を心掛けていきます。

Stay tuned for next year!!